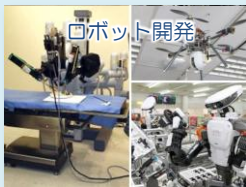


## 見直しの必要性

復興計画(第2次)策定から2年6ヶ月が経過し、本県復興に大きな影響を与える事象や環境変化が見え始めている。

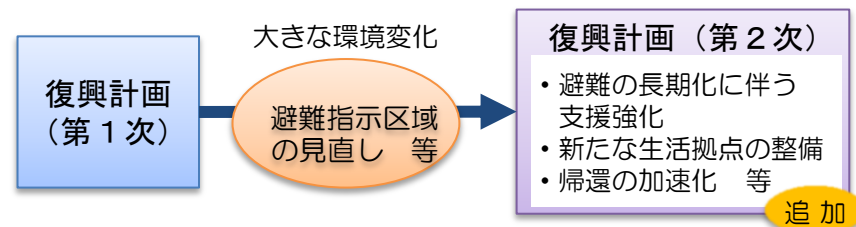
- 避難地域の将来像の検討
- イノベーション・コースト構想の具体化  
〔国際廃炉研究開発拠点、ロボット開発・実証拠点、国際産学連携拠点、新たな産業集積 など〕
- 避難指示解除の動き
- 風評・風化 等



2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに復興した本県の姿を発信することを目指しており、復興をめぐる動向を踏まえ、**現行計画における取組内容の変更**、さらには**新たに盛り込むべき取組内容の追加**など、**計画内容の見直しを図る必要がある**。

このため、平成26年度までの実績の把握(進行管理)や上記の方向性が示される報告等を踏まえ、計画の見直しを行うものとする。

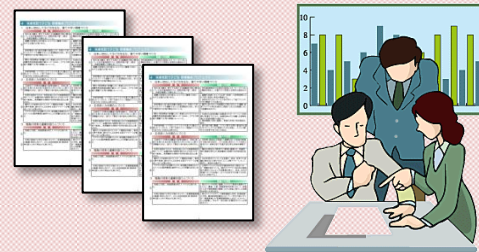
[参考] 復興計画(第1次)の見直し ※平成24年12月23日



## 見直しの内容とスケジュール(案)

### 現行の取組内容等の修正・変更

現行の復興計画で進めてきた取組や進捗状況の「**総点検**」



取組の成果や課題を検証し、今後の方向性を検討

総点検結果による  
取組の修正・変更案の作成

### 新規プロジェクトや取組の追加

避難地域の将来像  
イノベーション・コースト構想  
避難指示解除の動き  
風評・風化対策 等



本県の役割や取組を精査し、今後の方向性を検討

新たな動きを踏まえた  
新規プロジェクト・取組  
の追加案の作成



6月～ 庁内検討会議 (事務レベル)

7月～ 検討部会 (外部有識者)

意見聴取 (県民・市町村・県議会等)



12月下旬 復興計画(第3次)策定